

YAMAHA

ACTIVE SERVO PROCESSING SPEAKER

AST-T100

取扱説明書

このたびは、YAMAHAアクティブ サーボ プロセッシング スピーカーAST-T100をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。












AST-T100は、ヤマハのオーディオ技術を駆使して開発された、全く新しいコンセプトのスピーカーです。

設置場所を考慮した省スペースのスリムデザインです。AVシステムのメインスピーカーとしてお使いいただくと、ワイドで緻密なサウンドを豊かな臨場感と共に再現できます。

AST-T100の性能を十分に発揮させると共に、未永くご愛用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

なお、お読みになった後は保証書と共に大切に保管してください。

ご使用上の注意

-  本機は必ずYAMAHA製アクティブ サーボ プロセッシング アンプに接続してご使用ください。
-  ご使用の前に付属のカートリッジをアクティブ サーボ プロセッシング アンプのカートリッジホルダーに装着してください。
-  キャビネットを美しく保つため、キャビネットに水気やアルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤などをかけたり、ビニール系の敷物類をのせないようご注意ください。色がはげたり貼り付いたりします。なお、お手入れは必ず柔らかい布でからぶきするようにしてください。
-  キャビネットの変色・変形を防ぐため、直射日光の当たる所や湿気の多い場所でのご使用は避けてください。
-  設置場所は、転倒などの事故が発生しないしっかりと安定した場所を選んでください。音質的にも有利です。
-  本機をレコードプレーヤーと同じ台や棚の上に設置すると、ハウリング(音の悪循環)を起こすことがあります。
-  本機は防磁設計となっていますが、万一テレビの近くでご使用になり色ムラが生じたときは、テレビと本機の距離を離してご使用ください。
-  サラネット内側のスピーカーを押しつけたり、ショックを与えないようご注意ください。変形などしますと、音が歪んだり故障の原因になります。
-  本機およびアンプの損傷を防止するため、接続の際は、必ずアンプの電源を切ってください。
-  購入時に必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店名、購入日などの記入が無いと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合、有償となることがありますのでご注意ください。
-  この取扱説明書は、保証書と共に大切に保管してください。



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなて楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

アンプとの接続

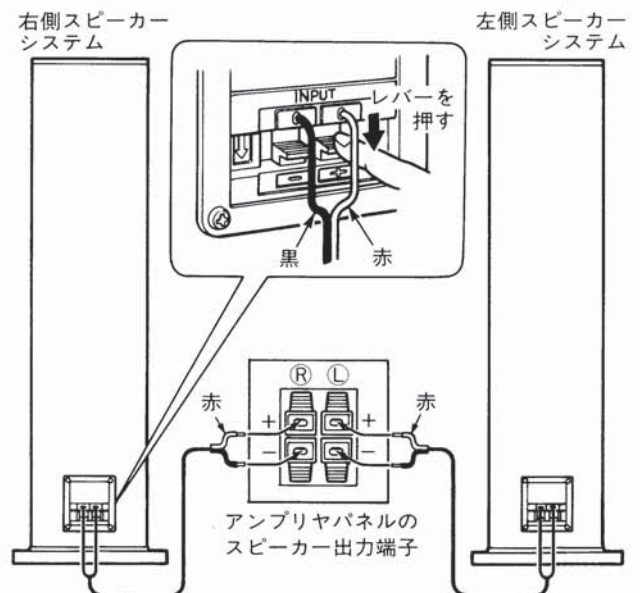
- 本機は、アクティブ サーボ プロセッシング アンプ専用のスピーカーです。他の機器には接続しないでください。
他の機器に接続しても、スピーカーシステム本来の性能を発揮できません。
- 付属のカートリッジは、他のスピーカーとの組合せでは使用できません。
他のスピーカーとの組合せで使用した場合、アンプおよびスピーカーに損傷を与える場合がありますので十分ご注意ください。
- 接続の際、必ずアンプの電源を切ってください。

■接続方法

- 付属のカートリッジをアクティブ サーボ プロセッシング アンプのカートリッジホルダーに挿入します。
- アンプのスピーカー出力端子と本機背面のスライド式入力端子を、付属のスピーカーコードで接続します。
- 付属のスピーカーコードは、黒赤の平行コードです。赤側をアンプと本機の赤端子(+側)間に、黒側を黒端子(-側)間に接続してください。
- 左チャンネル(向かって左側)のスピーカーはアンプのL端子に、右チャンネル(向かって右側)のスピーカーはR端子にそれぞれ極性(+、-)を確認して接続してください。
極性(+、-)を間違えると不自然な音になります。ご注意ください。

●接続手順

- ①付属のカートリッジをコネクタ側からアンプのカートリッジホルダーに挿入します。
- ②図のように端子の下にあるレバーを下に押し下ろします。
- ③スピーカーコードの芯線部分を穴に差し込みます。
- ④レバーから指を離すと、コードがロックされます。
- ⑤確実にスピーカーコードがロックされたか、コードを軽く引っ張って抜けないことを確認します。

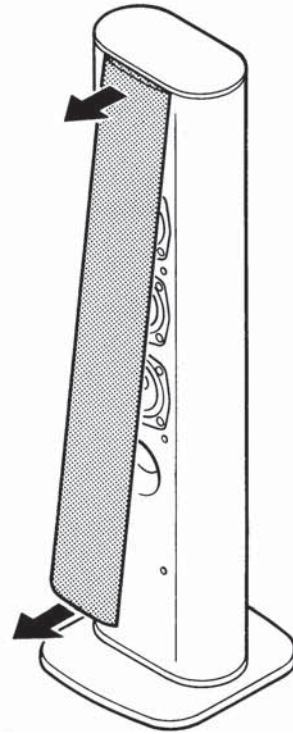


サラネットのはずしかた

サラネットは本体に8個所で取り付けられています。取りはずす場合は、サラネットの両側を持って、下側から順に手前に引いてはずします。

取り付けるときは、サラネットのストライク(突起)と本体側キャッチャー(ストライク受け部)の位置を合わせて軽く押さえます。

※取付の際、サラネットのストライクがスピーカーに当たらないように注意してください。



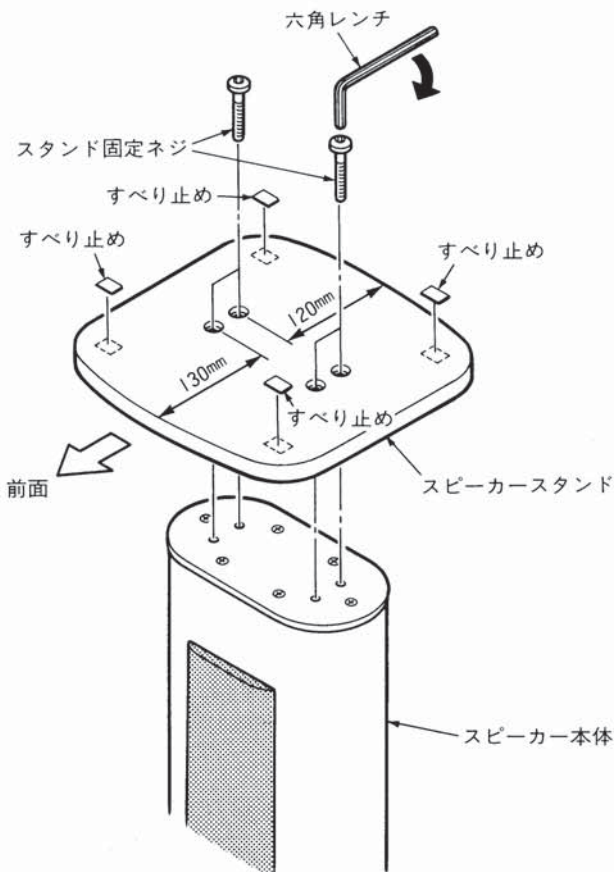
■カートリッジ取扱い上の注意

- 精密部品が収められています。強い力を加えたり、落としたりしないでください。
- コネクター部にゴミや傷がつかないように注意してください。
- 次のような場所には置かないでください。
温度が高い場所(40℃以上)
温度が低い場所(-5℃以下)
湿度が高い場所(90%以上)
ホコリの多い場所

スピーカースタンドの取り付けかた

- ①スピーカー本体を逆さまにします。
下に布などを敷いてから逆さまにしてください。そのままですと天板が傷つきます。
- ②スピーカースタンドをスタンド固定ネジ4本で固定します。
スタンド固定ネジは付属の六角レンチを使って締め付けます。
- ③すべり止めを4個所に貼ります。

※スピーカースタンドには前後があります。図を参考に正しく取り付けてください。



参考仕様

タイプ……2ウェイ4スピーカーユニット、防磁型(EIAJ)
2ウェイ アクティブ サーボ テクノロジー
スピーカー システム

スピーカーユニット

ウーファー……12cmアリレートコーン(JA1229)×3
ツイーター……2.5cmソフトドーム(JA05B3)×1
クロスオーバー周波数……2.5kHz 12dB/oct
最大音圧レベル……114dB SPL/1kHz(AST-A10使用時)
再生周波数帯域……24Hz~30kHz
キャビネット……レリッシュエルク塩ビ仕上げ
外形寸法(幅×高さ×奥行き)……295mm×1,000mm×290mm
重量……11.8kg
付属品……ASTカートリッジ(AST-KT100)×1

スピーカースタンド×2
スタンド固定ネジ×8
六角レンチ×1
スピーカーコード(4m)×2
すべり止め×8

●仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また**製品の品名、製造番号**などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

●修理可能の範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますのでエージングの差による音色の違いが出る場合があります。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道	〒064 札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL(011)513-5036
仙台	〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL(022)236-0249
東京	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL(044)434-3100
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーホールビル2F TEL(025)243-4321
松本	〒390 松本市大手2-5-2 中村屋ビル3F TEL(0263)32-5930
浜松	〒435 浜松市上西町911番地 ヤマハ宮竹工場内 TEL(0534)65-6711
名古屋	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230
京都	〒600 京都市下京区七条通間之町東入材木町483 第2マスイビル TEL(075)361-6470
大阪	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL(06)877-5262
神戸	〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ神戸店内 TEL(078)321-1195
四国	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ高松店内 TEL(0878)22-3045
広島	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL(082)874-3787
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2134

■お客様ご相談窓口

北海道	〒064 札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内 北海道営業所 TEL(011)512-6115
仙台	〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル4F 東北営業所 TEL(022)223-3101
東京	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F 首都圏第一営業所 TEL(03)255-5691 首都圏第二営業所 TEL(03)255-2201 神田営業所 TEL(03)255-6767
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーホールビル 北関東営業所 TEL(025)241-2084
神奈川	〒211 川崎市中原区木月1184 ヤマハ日吉センター内 神奈川営業所 TEL(044)434-4871
浜松	〒433 浜松市幸3-5-8 ヤマハ四ッ池センター内 浜松営業所 TEL(0534)71-1207
名古屋	〒464 名古屋市中種区東山通5-65 ヤマハ東山センター内 中部営業所 TEL(052)782-7551
大阪	〒556 大阪市浪速区敷津東1-9-16 ヤマハなんばセンター内 関西営業所 TEL(06)647-6411 日本橋営業所 TEL(06)647-6411 中央営業所 TEL(06)647-6411
広島	〒730 広島市中区紙屋町1-1-20 いよきん広島ビル内 中国営業所 TEL(082)244-3745
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 九州営業所 TEL(092)472-2131
本社	〒430 浜松市中沢町10-1 AV機器事業部 お客様ご相談センター TEL(0534)60-3409

ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

国内営業部

TEL.(0534)60-3451

生産部品質保証課

TEL.(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。

VI47820-0 BWgW,W © ㊞